



たじろ

- * 自主性：自ら挑戦する，自ら行動を起こす。
- * 寛容性：仲間の考えに耳を傾け，思いやる。
- * 自律性：誠実な心の声にしたがって行動する。



発行日：令和5(2023)年3月13日 発行者(文責)：校長 西村 茂樹

それぞれの夢に向かって



76th 卒業証書授与式

春の陽光がさす3/10, 274名の卒業生が、たくさんの「ありがとう」を残して、誇り高く学校を巣立っていきました。「全国一斉休校」に始まった中学校生活。未曾有のコロナ禍の中にあっても、困難を乗り越える逞しさと、感謝することを忘れない「人のあるべき姿」を示してくれた卒業生たち。私達職員も、3年間の成長の過程に携わり、無事に送り出せたことを有り難く、そして、幸せに感じております。本校教育をご支援いただきました全ての皆様方に、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



「答辞」：卒業生総代(前生徒会長)：石原 さん



義務教育修了

社会に出ても困らない読み・書き・計算，体力や道徳。9年間でそれらを身に付けてきた一人一人へ，その「証」を授与します。おめでとう！



胸がいっぱい

家族の応援で頑張れた。みんなのお陰で成長できた。このクラスの一員でいれてよかった。ありがとう先生。次の学校でも頑張ります。



「高き姿」を求めて

学年目標「高き姿」を目指して成長してきた卒業生。「答えがない」と言われるこれからの時代を生き抜かねばならないからこそ、いつまでも「高き姿」を求め続けて欲しい。



- 一つ、志高く、誰にも恥じることのない生き方を貫く人
- 二つ、言葉を大切に人にする人
- 三つ、人の心の痛みが分かる人



号令のない式典

下級生は、上級生の姿にあこがれながら成長していく。最後までチャレンジし、多くの道標を残してくれた君たちの功績を讃えます。カッコよかった！



どこまでもエール

励ましてくれた先生。叱ってくれた先生。いつも傍にいてくれた先生。エールで送り出してくれた先生。これからもずっと見守っていてください。



輝く笑顔で

こんなふうには、マスクなしで過ごしたかったね。輝く笑顔を見せたかったね。止まっていたものが、やっと動き出した卒業式でもありました。



成長の日々

友達と喧嘩、仲直りして泣き笑
いた日。親に反抗した日。先
生に心配をかけた日。つまずき
転んで反省して…少しずつ成
長してきた今の私達です。



あなたに感謝

私たち教師も、あなたたちとの
出会があって喜び、笑い、悩み、
考えました。だから、成長する
ことができました。どうもあり
がとう。また逢いましょうね。



ありがとう先輩

いつか来る卒業の日。私達も心
からの「ありがとう」が言える
かなあ。おめでとうございます
先輩。しっかりと引き継いでい
きます。 原 さん「送辞」



大震災から12年 「群青」

県内中学一の生徒数を誇りに、入学の日から3年間、274名もの同級生と“コロナ禍”
の苦難を共に乗り越えてきた。支えてくれた先生、後輩、お世話になった地域の方々、
そして大切な家族に、私たちの心を届けます。

3年生を「送る会」 3月9日 ～ サプライズ・オカリナコンサートも ～

式前日の生徒会主催による「送る会」。主役はもちろん3年生でし
たが、生徒会を中心とした下級生が祝意を込めて準備してくれた会
です。受検後と式前のひと時を、スライドによるメッセージや歌によ
り、「思い出」と「感謝の想い」でいっぱい飾ってくれました。

第2部は、Shanaさんお二人によるオカリナ&ギターのサプライズ・
コンサート。唱歌「ふるさと」や「ジュピター」など4曲を演奏して
くださいました。「オカリナを初めて聴いて感激した」「曲もお話も素
敵だった」「癒された」の声々。楽しいひと時でした！

群青 震災地：福島県相馬市生まれ

当たり前が幸せと知った
自転車をこいで 君と行った海
鮮やかな記憶が 目を閉じれば
群青に染まる
響け この歌声 響け いつまでも
あの空の彼方へと
大切なすべてに届け (中略)
きっとまた会おう
僕らの約束は 消えはしない
群青の絆 また会おう
群青のまちで… ※歌詞一部です



《Shanaさん(お二人)のステージ》



《生徒会作成の映像と花束の贈りもの》



令和4年度
学校教育目標

夢に向かって目標をもち、
チャレンジする生徒の育成

